

策定年月日	令和8年3月31日
更新年月日	令和8年3月31日
	(第1回)
目標年度	令和15年
市町村名 (市町村コード)	山梨市 19205
地域名 (地域内農業集落名)	山梨 (正徳寺、落合、小田屋、上岩下、山根、矢坪、万力一区、万力二区、万力三区)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	273.1 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	273.1 ha
② 田の面積	17.1 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	256.0 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	273.1 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha

(備考)県営畑地帯総合整備事業等、換地を伴う事業の対象農地については、一時利用指定地の公告以降、最新の地図に基づいた地番の耕作者を担い手と位置付けるものとする。

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

耕作条件の良い農地は希望者が多く借り手はすぐ見つかるが、傾斜地など耕作条件の厳しいところは借り手が見つからず荒廃しており、特に中山間地域は荒廃農地化が進んでいる。
若い世代は勤め人が多く、跡を継ぐかどうか分からず、後継者不足が危惧される。
万力地区は畑総事業を取り入れた結果、機械化が進み省力化に繋がった。
既存の農業者と新規就農者の間で農作業の考え方にズレがあり、不具合が生じている。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

現状、モモは正徳寺地区を中心に生産しているが、それ以外の地域ではブドウを主に栽培しており、今後もこの傾向は続くと思われる。
耕作条件の厳しい中山間地域については、基盤整備などを実施することで荒廃化を防ぎ農地を守っていくことが必要ではないか。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

高齢化などで耕作ができなくなり、遊休農地が増えることが無いよう、市やJAIに情報を集約し、農地の集約化を意識しながら、農業を担う者により農地利用を進める。

(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	42.7 %	将来の目標とする集積率	42.7 %
--------	--------	-------------	--------

(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標

集団化を希望する担い手に農地を集約していく。

